

受け継ぐチカラ

琉球王国の礎は

う
ら
そ
え

浦添に築かれた

古くは「うらおそい」と呼ばれていた浦添市。今から六〇〇年あまり前、地の利に恵まれたこの浦添から琉球王国は生まれました。当時の浦添は、宜野湾のほぼ全域、西原や那覇の一部も含み、麦畑や水田が広がる豊かな土地で、さらに那覇港や牧港などの貿易港も控えていました。

また、全琉球の人口は、今の浦添市よりも少なく、中心地の浦添は一人にも満たなかったと考えられています。

このわずかな数の先人たちが、アジア諸国との海外交易を繰り広げ、その後五〇〇年にわたる琉球王国の基礎を固めたのです。